３・４年生学芸会台本

「もの物語」

名前

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定規 | 消しゴム母 | えんぴつ５郎 | えんぴつ４郎 | えんぴつ３郎 | えんぴつ２郎 | えんぴつ太郎 | 子ども５ | 子ども４ | 子ども３ | 子ども２ | 子ども１ | ヒロイン | ヒロイン人形 | えんぴつ（オプ） |
| ９ | ７ | ４ | ４ | ４ | ４ | ７ | ６ | ６ | ６ | ６ | ６ | ７ | ９ | ７ |
| 赤ペン | レゴ８ | レゴ７ | レゴ６ | レゴ５ | レゴ４ | レゴ３ | レゴ２ | レゴ１ | スリッパ | 軍手 | はし | くつした３ | くつした２ | くつした１ |
| ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ７ | ４ | ４ | ４ | ４ | ４ | ７ |
|  | 先生（かけ） | 母 | 父（かけ） | プラレール | トミカ | タブレット | ディーエス | スイッチ | スクラップ５ | スクラップ４ | スクラップ３ | スクラップ２ | スクラップ１ | レゴ９ |
|  | ３ | ３ | ３ | ４ | ４ | ４ | ４ | ４ | ６ | ６ | ６ | ６ | ５ | ５ |

序章　　人形の願い

　　　♪わたしの声

人形　「この物語が始まる前に聞いてほしいことがあるの。」

　　　「わたしは人形。」

　　　「あの女の子の人形よ。わたし、あの子がだいすき。」

　　　「なんだかさいきん、まわりのおもちゃや、ものたちの様子がおかしいの。」

　　　「まるで、人間におこっているみたい。」

　　　「このままだとよくないことがおきる。そんな気がするの。」

　　　「だからわたし、とめにいこうと思う。」

　　　「みんなに聞いてほしいことはただ一つ。」

　　　「人間にも。ものにも。心はある。愛はある。」

第一章　　（文房具の世界）

　　　♪チャイム　あかりはスポットのみ

　　　　舞台下では、先生、子ども１〜５が勉強をしているようす。

　　　　自然なふだんの生活をえんじる

　　　　子ども１が勉強をしていると、えんぴつがおちてしまう。

子ども１「あ、えんぴつおちちゃった。ま、いっか、こっちの新しいの使おうっと。」

　　　♪転がる音、ぶつかる音

　　　　↑と同時に、舞台そでからえんぴつOPがあわてて出てくる

えんop「あーいたたたた！まったく、あつかいがひどい！・・・・はっ！（えりを直して）

みなさん、はじめまして。わたし、えんぴつです。え？ものが話すって？なぜおかしい

　　　　のです？ものは話さないのでしょうか。ものには心がないのでしょうか。みなさん、

　　　　知らないのですか？あるんですよ、ものにも心が。お話だってするのですよ。

　　　　それはそうと、実はわたしたち、おこっているのです。だれにって？

　　　　もちろん、あなたたち、人間にですよ。え？知らないって？

　　　　わたしの頭をガリガリガリってはものでけずったり、

　　　　力を入れ過ぎてボキッておったりするくせに・・・（指差して）

　　　　でも、わたしがおこっているのはそんなことではありません。

　　　　まだ、わかりませんか・・・いいでしょう。とくべつですよ。あなたたち人間を

私たちものの世界へあんないしましょう。ちゃんと見てくださいよ。ものたちが、何を

考え、何におこっているかを。」

　　　　ここで幕があく、舞台上がふでばこの中の世界、下は現実の世界

えんぴつ達がしょくたくをかこんでいる

太郎「消しゴム母さん、ごはん」

消し「はいよ、もうあんた、３ばいも食べて。」

２郎「しょうがないよ、人間たちがやたらと兄さんを

　　　使うんだもの。」

３郎「兄さん、すごい人気だもんね。」

太郎「へへ、おかげでこんなにへっちまったけどな。」頭おさえて

　　　しばらくの間　食べるえんぎ

４郎「そういえばさ、最近スクラップ団っていうわるいうやつら

　　　がいるってうわさがあるんだけど、しっている？」

５郎「スクラップ団？」

４郎「うん、かんたんにいうと、ものさらいだよ。」

消し「ものさらい、わたしたちをどこかへつれていくのね・・・

　　　ぶっそうだわ。」

５郎「へっへーお前のことをさらっていくぜ！」

現実の世界の動き

子ども１２３４５、

休み時間の動きをつづける

声は０で

子ども１２３４５席につく

先生が入ってくる

３郎「きゃーやめてー、みたいな？」

２郎「あほらし・・・」この後、かんたんなざつだん

♪チャイム

全員「チャイムだ！」

消し「始まるわよ！みんな位置について！」

全員「おお！」

♪チャイム（はげしい、メロディーのヘビメタチャイム）

　　　えんぴつ全員、５れつによこにならぶ

　　　子どもがふでばこをあけたら、照明強めになり、

全員「まぶしー！」

♪カーレースの音

定規「さあ、やってまいりました、きんちょうのしゅんかん！

　　　今日は、一体だれがえらばれるんでしょうか、わたくし、

　　　テストではまずつかわれることのないじょうぎが、

　　　じょうぎだけに、じょうきげんで、実況をしていきたいと

　　　思います。さあ、今日はだれとだれをだれにだれがえら

　　　ばれるのでしょか。どうでしょうかね、赤ペンさん。」

赤ぺ「テストですからね、使いやすいえんぴつか、新品のとがった

　　　えんぴつか、なやむところですね。」クールに

定規「おっと、きまったようです。」

♪ ドラム音

定規「やっぱり兄だー！」太郎くるくるとまわりながら下手へ

現実の世界の動き

先生「今からテストをはじめる

　　　ぞー。えんぴつを用意し

　　　ろー。」

子１「はい。」

つくえからふでばこを出す

ふでばこをあける♪パカ

しばらくどのえんぴつを使うかなやむえんぎ

声を出しても良い

ドラム音の最後で、えんぴつをえらぶ

ふでばこをとじる

太郎以外「にいさーん！」

赤ぺ「使い古したえんぴつが一番使いやすいですからね。」

定規「おおっと、消しゴムお母さんがいきなりけしょうをはじめた

　　　ぞ、いったい何が始まろうとしているのか。

　　　おっと、人間がまちがえたようだ。

　　　消しゴム母さん、もうれつないきおいで走っていったー。」

えん「かあさーん！」

赤ペン「人間はいったい何をまちがえたんでしょうね。」

定規「帰ってきたー！母さんはやい帰りだ。じゃっかんけしょうが

　　　おちております。あわててけしょうをはじめます。」

　　　あーっとまた人間がまちがえたようだ。消しゴム母さん、

ダッシュです！」

えん「かあさーん」

定規「もどってきた、母さん、やはりけしょうがおちている。

あーっとまたまた出番です。

もはやけしょうをしている時間がない。そのままいったー」

えん「かあさーん」

赤ペン「ピンチですね。人間もピンチそうです」

定規「おっと、ここまでまさかのじたい！

　　　人間がえんぴつと消しゴムをなげてあきらめてしまったー！

子１「あ、まちがえた。」

消しゴムを出す

消すえんぎ

ふでばこにもどす

子１「またまちがえた。」

　　　消しゴムもって消す

消すえんぎ

ふでばこにもどす。

子１「あ、ここもまちがえてい

　　　る。」

消しながらだんだんイライラ

子１「もうわかんない！

　　　やーめた！」

　　　えんぴつ消しゴムを

　　　おとしてねる

　　　おちた二人はいったいどうなるのか〜」

　　　暗転　　バックイラストが教室のゆかにかわる

　　　えんぴつぜんいん一度下手にはける

　　　♪チャイム

消し「ここは、どこ？」

太郎「つくえの下の世界みたいだ。ぼくたちは落とされたんだ。」

消し「どうしてひろってくれなかったのかしら。」

太郎「だいじょうぶ、すぐに主人がひろってくれるさ。」

先生「そうじの時間だぞー」

子１２３４５「はーい。」

手にほうきをもってゆかをはいている。

この音とともに動きをピタっとしばらく止める

♪ スクラップ

消し「何？この音は？」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に　わすれられ

おれらのいかりでスクラップ　はい！

スクラップ

スクラップ

消し「やめて！すてられてなんていないわ」

ス１「じゃあ、なんでむかえがこない？」

ス２「じゃあ、なんで落ちたまま？」

ス３「じゃあ、なんでみつからない？」

ス４「なんで」（小）

ス５「なんで」（中）

ス全「なんで、わすれられた？」（大）

太郎「それは・・・」

消し「わたしたち、わすれられたの・・・ひどい！」

太郎「使いたいだけつかって、さいごはポイかよ！ゆるせない！」

スクラップの歌２

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ

おれらといっしょにスクラップ

いこうぜいっしょにスクラップ　はい（さそうようなしぐさ）

スクラップ　（ここでれつをつくって下手にはけようとする）

スクラップ

消し　太郎　おそるおそる　うしろについていくうしろにならぶ

スク４「あ！たいちょう！むこうにわすれられたものを発見」

スク５「いざ！」

全　　「スクラップ！」

スクラップ！　スクラップ！（言いながら下手へはける）

暗転

　　人形が上手から出てきて、ためいきをついて下手へ

動きをはじめる

子１、ほうきを手にしながら

「あれ？ぼくの大事な消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

第二章（かたほうの世界）

♪おうちの音楽

子２「ただいまー！」

母　「あら。おかえり、あんた

　　　さ、はし、１本足りない

　　　だけど、知らない？」

子２「しるわけないだろ！」

父　「とうさんの軍手も１そく

　　　足りないんだが、知らん

　　　か」

子２「しるわけない。」

母　「まあいいわ、おやつある

　　　から、その前にきがえて

　　　きなさい。」

父　「あ、母さん、とうさんの

　　　くつしたもそういえば」

母　「知るわけないでしょ！」

　　　洗濯スペースにいき、

　　　くつしたをぬぎながら

子２「全くなんだよ、はしの１

　　　本やてぶくろの１つや

　　　ふたつでうるさいなあ。

　　　どうでもいいじゃん。」

　　　くつしたをすきまに

　　　なげる

子２「あ、くつした片方すきま

　　　に、、、まあ、あとで

　　　いっか。」

　　　下暗転

子１、ほうきを手にしながら

「あれ？ぼくの消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

ステージ上に　かたほうぶたい待機

　　バッグ、真っ暗、ステージ上も少しくらく

　　くつ下１、上手からころげおちてくる

くつ１「いたたたた！ちょっと、ごしゅじん！」（上手にむかって

　　　　あたりをみまわす。

くつ１「あれ？ここは、どこだ？」

　　　　あたりにいるくつしたをさわると

くつ２「ほう」とおきあがり、つぎのくつしたをさわると

くつ２３「ほう」・・・と一羽ずつふえておきあがる群読

　　全員が「ほう」とおきあがったらミュージックスタート

♪ 音楽（暗い感じの音楽）アンドダンス

かたほうの歌

かた　ほう（ほうはうら声）つばさをあげて

かた　ほう

かた　ほうほーう

くつした　おはしも　かたほうほーう

軍手も　スリッパ　　かたほうほーう

かたほう　さがして　かたほほほーう？

ほう　ほう　ほほほーう

かたほうほーう

くつ１「君たちはだれ？ここで何をしているの？」

くつ２「ここはかたほうの世界」

くつ３「わたしたち、さがしているの」

くつ１「なにを？」

スリパ「もうかたほうを」

はし「だからこうしてはばたいて、ここから出ようとしているんだけど。」

くつ２「つばさがかたほうしかないから、とべないの。」

全員　「ほうほうほほほーうかたほうほーう」※超高速でくるったように３回

（はばたきながら全員その場をぐるぐるまわる）

くつ１「とぶも何も、ぼく、今あそこからなげられたんだ。あるいていけるよ。ついてきて」

片方集団「ほほほほほほう？」一羽ずつ止まったあとに「ほうほう」

　　　れつをつくって歩き始めると

くつ２「あ！まって！人間がきたわ！みんな！気づいてもらおう。」

全員　「おおーい！ここだよー！」

　　全員　ほうほうダンスでもうアピール

　　　　　時間があれば、コントやまんざいを

　　　　　してアピールをしてもよい。

　　　　　例：コント、シーソーが片方しか

　　　　　　　なかったら・・・ドスーン！みたいな

くつ３「ああ、なんで気づいてくれないのかな？」

スリパ「まって、何かきこえる！」

はし「そうじき・・・の音かしら」

♪ スクラップ　　消しゴム母と、えんぴつ太郎も参加

母、そうじきかけながら

「あなた、せんたくもの、せんたくきから、だしておいてね」父「ったく、めんどくせえな！」

しばらくせんたくきからせんたくものを出している。

行ってしまう

母しばらくそうじきをかけている

ここでピタ。

子１、ほうきを手にしながら

「あれ？ぼくの消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

くつ２「何？この音は？」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に　わすれられ

おれらのいかりでスクラップ　はい！

スクラップ

スクラップ

スリパ「やめて！すてられてなんていないわ」

ス１「じゃあ、なんでむかえがこない？」

ス２「じゃあ、なんで落ちたまま？」

ス３「じゃあ、なんでみつからない？」

ス４「なんで」（小）

ス５「なんで」（中）

ス全「なんで、わすれられた？」

くつ１「それは・・・」

くつ２「わたしたち、わすれられたの・・・ひどい！」

はし「もう片方がまっているのに、ゆるせない」

スクラップの歌２

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ

おれらといっしょにスクラップ

いこうぜいっしょにスクラップ　はい（さそうようなしぐさ）

スクラップ　（ここでれつをつくって下手にはけようとする）

スクラップ

かたほう隊、おそるおそる　うしろについていくうしろにならぶ

スク４「あ！たいちょう！むこうにわすれられたものを発見」

スク５「いざ！」

全　　「スクラップ！」

スクラップ！　スクラップ！（言いながら下手へはける）

暗転　人形にスポット

人形「また、間に合わなかった・・・」

子２もどってきて

せんたくきのうらに手をのばして

「あれ？さっきここになげた、くつしたないや。どこへいったのかな？あれ、お気に入りなんだけど・・・」

子１、ほうきを手にしながら

「あれ？ぼくの消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

　　「早く止めないと・・・」

第三章（使われなくなったもの達の世界）

れご１から９をおしのけて、どっかりすわる三人

タブ「いやいやいや、レゴ君たち、いつもすまないね。」

子３　子４　子５で

家の中でタブレット、３DS、スイッチをしている。

子３「やっぱいかキン最高だわ！まじつぼった」

子４「いやいや、このホッケとモンスターこそ、最高なゲームだよ。」

子５「何言ってんの、一番人気はスマッシュシスターズでしょ。」

子３「あ、おれ充電切れ」

子４「おれも」

子５「おれもだ。」

子３「どうする？レゴでもする？」

子４「うーん、おれ、パス」

子５「おれも。」

子３「じゃあ、テレビでもみるか。」

子４５「うん」

テレビを見ながら、ゲーム機にコードをさしていく

子１、ほうきを手にしながら

「あれ？ぼくの消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

DS「君たちのベットをわれわれでせんりょうして

　　しまってね。」

スイ「なにせ、われわれ人気者（強調）なので、いそがしいからね。」いやみったらしく

タブ「ああーそこ、ちょっとどいてね、われわれ、充電しなくちゃいけないから」

DS 「いやあ、今日もたくさんさわってもらっちゃったな。」

スイ「だな。やっぱりものはつかわれてこそ、しあわせだよな。」

三人「あははははは」

タブ「しかし、あれですな。働いたあとの電気はさいこうですな。」

DS 「まったくその通りですな」

スイ「けっきょく中にいれれば同じですけどな！」

三人「はははははは」

　　　コンセントさしたら、見事にわらいをとめて

　　「充電中・充電中・ただいま充電中・・・」とくりかえす。

　　　三人の様子をみて、レゴ達がたちあがり、レゴ１をかこむ

♪ワルキューレ（ワーグナー）

レゴ２「レゴ隊長！」

レゴ３「われわれはくやしいであります！」

レゴ全「くやしいであります。」

レゴ４「新しく来たあいつらに」

レゴ５「いばしょをうばわれて」

レゴ６「人気もうばわれました。」

レゴ７「かくなるうえは」

レゴ８「人間達にわれわれのビューティフルな合体わざを」

レゴ９「みてもらいましょう。」

レゴ１「ううーむ」

レゴ２「レゴ隊長！」

レゴ３「思い出させてやりましょうよ！」

レゴ４「われわれの楽しさを！」

レゴ５「カチッとはまったうれしさを。」

レゴ６「できあがった達成感を。」

レゴ７「さあ、みせてやりましょう！」

レゴ８「われわれのトレンディーな合体技を！」

レゴ９「レゴ隊長！」

レゴ全「レゴ隊長！」

レゴ１「そうだな、われわれのビューティフルかつトレンディーな合体わざを見せれば

　　　　人間達もわれわれの楽しさを思い出すやもしれん。いっちょやってやるか！」

レゴ全「おお！」

♪戦隊モノ

「へんけいがったい！」

「　　　　　　　　　」

「・・・みてくれなーい！」ひざをついてくずれる

子どもたち、

ふつうにてれびをみている。

レゴ１「次！」

「へんけいがったい！」

「　　　　　　　　」

「みてくれなーい」

レゴ１「次！」

「へんけい合体！」

「　　　　　　　　」

「みてくれなーい」

トミ「もうやめなブー」

プラ「ぼくたちの時代は終わったんだガタンごとん」

トミ「むかしはよかったぶー」

プラ「なんで遊んでくれなくなったんだごとん」

トミ「人間はひどいぶー」

プラ「もう、ぼくらのことなんていらないがたんごとん」

♪ スクラップ　　消し母　太郎　かたほう軍団参加

母「あんたたち、そろそろそこ片付けて、そとで遊びなさいよー」

子３４５「はーい」

かたづけるそぶり

そして、ゲームだけをもっていってしまう。

トミ「おや、なんか聞こえるブー」

プラ「はげしい音だがたんごとん」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に　わすれられ

おれらのいかりでスクラップ　はい！

スクラップ

スクラップ

トミ「君らは最近有名なスクラップ団だぶー？」

プラ「ちょうどよかったがたんごとん。」

トミ「ぼくたちも仲間にいれてほしいブー」

プラ「ちょうどさけびたかったんだがたんごとん。」

レゴ２「われわれも入れてほしいであります。」

レゴ全「いれてほしいであります。」

　　　　サングラスをそうちゃくしたり、ぶきをひろったりして、まをとる

スク１「さあ、これだけそろった！」

スク２「いよいよだ。」

スク３「いよいよ会いに行ける」

スク４「わたしたちをわすれた」

スク５「われわれをスクラップにした」

スク１「人間達に！」

全「人間達に！」

人形　「はあはあ、また間に合わなかった。」

人形　「すれちがっているだけなのに・・・どうして。」

子３「ただいまー」

子３「あれ？おかしいなレゴがない。あそぼうと思ったのに。」

子３「あーレゴで遊びたい！」

人形　「今度こそ！」

第四章（最終局面とフィナーレ）

暗転　　♪不安な音楽　ステージ上が学校にかわる　背景

♪ チャイム

子１「なあなあ、俺、最近きになることがあるんだ。」

ステージ下は

女の子の世界、

イスと人形をだいてすみのほうに

いる（人形にはマイクをしこんで）

子２「なんだ？」

子１「なんかさ、おれたちのまわりから、ものがなくなっているようなきがするんだよね。」

子３「あ、それうちも。」

子４「なくしたたとかじゃなくて？」

子１「うん、なんかさ、本当に消えているっていうか。」

子５「それ、うちもだわ。すごいかずのものがなくなった気がするんだよね。」

子２「そういえば、うちもくつしたとか、色々なくなったような。」

子３「うちもだ・・・レゴとか、トミカとか・・・こわいね。」

子４「まあ、気のせいだよ。楽しくいこうぜ。」

子全「う・・・うん。」

スクラップの歌

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に　わすれられ

おれらのいかりでスクラップ　はい！

スクラップ

スクラップ

　　　　歌いながら子１〜５をかこんでにおうだち

子１　「き、きみたちは、もしかして」

太郎　「よくも、すててくれたな！」１歩前へ　どん

くつ１「どうしてひろってくれなかったんだ！」１歩前へ　どんどん

レゴ１「どうしてあそんでくれなかったんだ！」１歩前へ　どんどんどん

話すたびに全員、もっているほうきなどのぶきを下にどんどんとリズムよくたたく。

スク１「わすれられたものは、しだいにきえてなくなってしまう。」

スク２「お前達人間は、わすれすぎだ！」

スク３「だからこうして」

スク４「会いにきた。」

スク５「むりやりにでも」

スク１「思い出させるために！」

全　　「思い出させるために！」

　　　　スクラップの歌を歌いながら

武器をシャキーンと人間にむけて少しずつつめよっていく。

子全員「うわー！」暗転

人形「まって！・・・・やっと、やっと間に合った。」　全スポット、人形へ

歌　「わたーしーはーにんぎょーう　あのひーとーのーたからーもの

　　　たいーせつーにされてた　あいをしーっている」いけたら続きも

人形「人間のみなさん、かれらの気持ちにきづいてあげてください」

人形「みんな、たださみしいだけなの。」

人形「わすれてほしくないだけなの。」

人形「そして、みなさんも思い出してください。人との温かい思い出を。」

歌　「こころが叫びだす　あなたの名前」

　　　歌を流しながら、

背景VTR（３・４年生がものと一緒に笑顔で映っているもの）

ヒロ「あら、どうしたの？さみしそう・・・うん、伝えたいことがあるんだね。わかった。一緒にうたおうか。」

太郎「おれ、こんなに小さくなるまで、大切に使ってくれた。」

くつ「片方をとっておいてくれているってことは、もう片方をさがしてくれているからだ。」

レゴ「すごい作品・・・時間かかっただろうな。」

子１「ごめんよ。おれ、なんですぐにさがさなかったんだろう。」手をとりあい

子２「もう、かたほうだけにしないよ。」

子３４５「まだまだ、おもちゃでも遊びたいよ！」

人形「ものと人には思い出がある、それを大切にし続けることができれば、ものはずっと人のそば

　　　にいられるの。さあ、みんなで手をつないで。」

　　　全員武器をゆっくりおく

もの代表「人を」人代表「ものを」全員「いつまでも！」

歌　「こころが叫び出す　あなたの名前」※できたら　きびしければかたほう

　　歌いながらカーテンコールをしていく